

第 22 回 JWRC 水道講座のご案内

1. 主催 : 公益財団法人 水道技術研究センター
2. 協力 : Japan-YWP
<http://www.japan-ywp.site/index.html>
3. 日時 : 令和 6 年 12 月 19 日 (木) 14:00~16:00
4. 開催方法 : Web 開催 (Zoom アプリを利用)
5. プログラム (内容については一部変更する場合がございますので予めご了承下さい。)

受付開始 13:30~		
主催者挨拶	(公財) 水道技術研究センター	14:00~14:05
協力者挨拶	Japan-YWP	14:05~14:10
① 「中山間地域の上水過程における 消毒副生成物の実態把握」	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 松本教授	14:10~14:55 (発表 35 分, 質疑 10 分)
(休 憩) 10 分		
② 「ネパール・カトマンズにおける研究活動 からみた小規模分散型水道の可能性」	山梨大学 国際流域環境研究センター 亀井助教	15:05~15:50 (発表 35 分, 質疑 10 分)
閉 会	(公財) 水道技術研究センター	16:00

6. 定員 : 200 名
7. 参加対象者 : JWRC 会員、Japan-YWP 会員、水道事業体及び関連団体、学生
8. 参加費 : 無料
(※JWRC、Japan-YWP とともに非会員の企業様は、申し訳ございませんがご参加頂けません。)
9. 申込方法
下記リンク先よりお申し込みください。
https://form.jwrc-net.or.jp/form/form.php?form_id=kouza22
10. 申込期限 : 令和 6 年 12 月 6 日 (金)
11. その他
 - ・ 昨年に引き続き、本講座を Web での開催といたします。
 - ・ 単独の団体・所属からの申込者多数となる場合は、参加者数の調整をお願いすることがございます。

【 申込問合せ先 】

(公財) 水道技術研究センター 調査事業部

松尾・杉本・西田・築山

TEL : 03-5805-0264

申込先 e-mail : kouza@jwrc-net.or.jp

講師プロフィール

① 松本 嘉孝 講師（豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 教授）

➤ 略歴

平成 12 年 3 月 山梨大学 工学部 土木環境工学科卒業
平成 14 年 3 月 山梨大学大学院 工学研究科 博士前期課程 土木環境工学専攻修了
平成 17 年 3 月 山梨大学大学院 工学研究科 博士後期課程 社会・情報システム工学専攻単位修得退学
平成 17 年 4 月 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 助手
平成 24 年 4 月 豊橋技術科学大学大学院工学研究科 建築・都市システム学系 准教授
平成 25 年 4 月 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授
令和 5 年 4 月 豊田工業高等専門学校 環境都市工学科 教授

現在に至る

最終学歴：平成 19 年 博士(工学)山梨大学

➤ 講演にあたっての講師コメント

平成 27 年度に水道水質基準のトリクロロ酢酸類の基準強化以降、中山間部の浄水施設において、夏季の出水時に基準値に迫る消毒副生成物(ハロ酢酸類)の検出が確認され、経験則に基づいた低減対策が行われた。今後も水道水質の悪化が継続すれば、給水停止による断水の頻発など、市民生活への大きな影響が危ぶまれる。

そのため本発表では、自治体とともに研究を行っている、簡易水道上水過程の水源および処理過程に着目した消毒副生成物の生成実態研究および、その実態を踏まえた運用方法について発表を行う。

② 亀井 樹 講師（山梨大学 国際流域環境研究センター 助教）

➤ 略歴

平成 28 年 3 月 山梨大学大学院 医学工学総合教育部 博士課程 修了
平成 28 年 4 月 山梨大学大学院総合研究部附属 国際流域環境研究センター 博士研究員 着任
平成 31 年 4 月 北里大学 医療衛生学部 健康科学科 助教 着任
令和 2 年 1 月 山梨大学 助教 総合研究部 生命環境学域環境科学系 助教 着任(現職)

➤ 講演にあたっての講師コメント

私はこれまでネパール・カトマンズ盆地において、窒素汚染地下水の浄化技術開発や開発装置の現地実装活動に携わってきました。ネパールは経済発展とともに首都カトマンズの都市化と人口増加が進んでおり、水道の供給量がまったく足りていません。水需要に応えるために地下水を代替水源として利用していますが、急拡大する都市化を受け止めきれないほど汚水処理設備が普及しておらず、汚水の垂れ流しによる地下水汚染のため多くの地域で浄水設備を必要としています。地下水は様々な場所で利用されているので浄水設備は小規模かつ分散的に稼働できるものがよく、現地のリアルなニーズに即し自在に設置・稼働可能な浄水装置が必要と考え研究開発に取り組んでおります。

今回の講演ではネパールにおける研究活動の成果や見えてきた課題を、よもやま話を交えながらご紹介いたします。また、ネパールの事例を踏まえて、災害大国日本における安定的な水供給システムとしての小規模分散型の浄水技術や、水供給サービスの可能性について話題をご紹介いたします。